

---

# レイジー サム

山野つつじ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

レイジー サム

### 【Nコード】

N5117Z

### 【作者名】

山野つづじ

### 【あらすじ】

カエルのサムはレイジー（怠け者）です。兄のビルも父親もとても困っています。一体どうしたら、サムは自立できるのでしょうか。

その昔、サムというカエルがいました。

サムと同じ年頃のカエル達は自ら水に飛び込み、食べ物を取っていました。

なのに、なぜかサムは泳ぐこともせず、食べ物も自ら取るうとしなかったのです。

サムは言いました。

「だって水は冷たいだろ。それに、泳ぐと疲れるじゃないか」

「虫は素早く逃げちゃうだろう？ どうせ上手くつかまえられるよ」

サムは、泳ぐことができないいたら敵から身を隠すこともできないし、誰かがエサを運ばないと食べることもできません。

どんな生き物でも、食べ物をも自分で取ることができなかつたら、生きていくことができないですよ。

仕方なく父親は、捕まえた虫をサムの口にぴよんぴよんと跳ねながら運ぶ毎日。

天敵である鳥が着たりすると、サムを大きな葉で隠し、自分が囹になつてぴよんぴよんと飛び跳ねる。

父親はかなり歳をとってきていたから、そういった毎日にも寄る年のせいで体力的に限界がきていました。

父親がサムに虫を運ぶことが出来ない時は、サムの兄のビルというカエルに代わりを頼んだのです。

ビルは父親に頼まれると、仕方なしに父親がするようにサムの世話をしました。

父親もビルも本当はトムの怠情を知っていたのだが、二人ともサムに無理強いをすることは可哀相だと思つて続けるしかなかったのです。

繁殖期になつてもそんな調子だから、サムのところには嫁にくる

カエルはいません。

みんなが嫁を見つけて子作りをしているのを見て、サムは言いま  
した。

「なんで僕には嫁ができないんだろう……」

だけどそんなサムの疑問に、「自分のことさえ律することができ  
ないものに、嫁なんかくるものか」という答えを父親もビルも知っ  
ていました。

ある日、ビルのガールフレンドのチエルシーが見るに見かねてビ  
ルに聞きました。

「どうして貴方の弟は自分で何もしないの？」

ビルはため息をつきながら言ったのです。

「俺だってこんなことしたくないんだよ。だけど俺がしないと父  
さんがしないとならぬだろう？父さん、もう歳だからサムの世話  
を続けるっていうのは無理だし。俺も父さんにサムの世話を頼まれ  
たら断ることできないんだよ。そうしないと父さんが無理をしてで  
もサムの世話をするから……」

チエルシーは、ビルの父親がサムの世話を続けるのは体力的に無  
理だとはわかっていました。

何かいい考えはないものかしら？とチエルシーなりに一日考えま  
した。

翌日、ビルとチエルシーが考え込んでいるとサムが「腹が減った  
よ、水の上をトンボが飛んでいるよ、あれ食べたい」と父親に向か  
って叫びました。

チエルシーはビルの困りはてた顔と、父親のうまく動かない体を  
見て、さすがに腹が立ちました。

びよんびよんとサムの近くまで大きくジャンプすると、「そんな  
に欲しけりゃ自分で泳いで取りにいきなさいよっ！」と後ろ足でサ  
ムの背中を強く蹴り上げたのです。

サムは「うわあーっ」という雄たけびとともに水の中にポチャリ

としぶきを上げて落ちました。

父親はびっくり仰天、ビルも一体どうなることやらとはらはらしています。

ところが、水の中のサムはカエル泳ぎを始めたのです。顔を真つ赤にして不満一杯の表情を見せていましたが、ちゃんと上手に泳いでいました。

チエルシーは父親の前に行き言いました。

「自分でエサを取ることもしない怠惰なカエル、繁殖期に嫁も作れない可哀相なカエルのサム、そんなカエルを作ったのはまぎれもない、父親の貴方！」

父親はチエルシーの言葉をうなだれて聞きました。

解っていたけれど、いつまでも彼は自分の子どもとして世話を焼き続けてしまった。

だからいつまでたっても、サムは一人前のカエルになれなかったのです。

父親もビルもサムが彼らを悩ませていたと思っていたけれど、実は悩みの元凶を作っていたのは彼ら本人だということをつかり忘れていたのでしょうか。

それ以降、父親もビルもサムの世話を一切しなくなりました。

サムは、お腹を空かせ死にたくなかったので、しぶしぶ水の中で泳ぎ、自分でエサを取ること始めたとき。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5117z/>

---

レイジー サム

2011年12月17日11時50分発行